

DENSO

Crafting the Core

グリーン調達ガイドライン の詳細説明

DNJP 安全衛生環境部

DNJP 調達DX改革部



説明内容

1. グリーン調達ガイドラインとは
2. グリーン調達ガイドラインの必要性
3. グリーン調達ガイドラインの詳細

1.グリーン調達ガイドラインとは

□グリーン調達とは？

- ①環境法規則・規範を遵守し、②環境負荷低減※に取り組み、
- ③環境マネジメントシステムが構築されている仕入先から、指定する禁止物質使用せず、環境負荷低減に配慮した部品・材料・サービスを優先的に調達すること

※環境負荷低減とは、GHG（温室効果ガス）の低減、環境負荷物質の削減など地球環境に与える負の影響を低減すること

□グリーン調達ガイドラインとは？

グリーン調達を推進するために、デンソーGの環境理念・方針および仕入先への具体的なお願い事項をまとめたもの

1.グリーン調達ガイドラインとは

□グリーン調達ガイドラインには何が書いてあるのか？

-はじめに

-デンソーエコビジョン2025

-本ガイドラインの位置付け

-仕入先様へのお願い事項

1.環境マネジメントシステムの構築

2.環境負荷物質の管理と削減

3.物流に関わるCO2排出量、梱包包装材の削減

4.仕入先様における各種環境への取り組み

-用語集

-問合せ先

2.グリーン調達ガイドラインの必要性

◆デンソーエコビジョン2025



キーワードは、
「サプライチェーン」、「グローバル」

◆顧客要求



顧客からはデンソーのサプライヤへの展開を要求

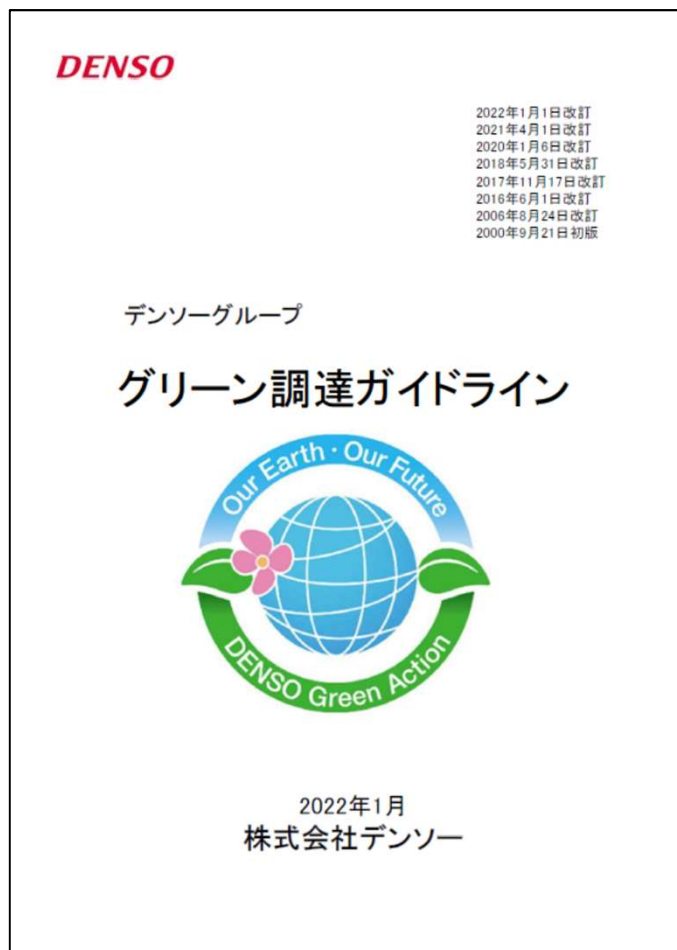
◆国際基準



各国行政は法律等を作りグリーン調達を推進

DNエコビジョン方針、顧客要求、世界各国の潮流より、
グリーン調達ガイドラインのサプライヤへの徹底は、グローバル企業のデンソーにとっては必須

3.グリーン調達ガイドラインの詳細



【解説（explanation）】

- これは表紙である
- 今回、デンソーは国内外の全てのグループ会社で運用できるように、グローバルで統一したグリーン調達ガイドラインを発行しました

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

目次

はじめに
デンソーエコビジョン2025
本ガイドラインの位置付け
仕入先様へのお願い事項

1. 環境マネジメントシステムの構築
1-1 環境マネジメント体制の構築
1-2 ライフサイクル全体での環境マネジメントの推進

2. 環境負荷物質の管理と削減
2-1 弊社内に納入される製品、部品、材料、副資材(最終的に製品を構成するもの)
(a) 環境負荷物質に関する設計基準の遵守
(b) 材料及び環境負荷物質情報の提供
(c) 環境負荷物質に関する初品検査結果の報告
(d) 環境負荷物質非含有管理体制の構築
2-2 弊社内にて使用する材料、副資材等
(a) 禁止物質の含有禁止
(b) 材料及び環境負荷物質情報の提供
2-3 弊社に納入される梱包包装材

3. 物流に関わるCO₂排出量、梱包包装材の削減
3-1 弊社からの委託物流における削減
3-2 弊社への納入物流における削減

4. 仕入先様における各種環境への取り組み
4-1 法規遵守
4-2 弊社製品開発への支援(省エネ製品、グリーン環境関連事業製品)
4-3 環境パフォーマンス向上(生産のCO₂、排出物・廃棄物、水使用量、化学物質、生物多様性、緑化)
4-4 従業員への取組み(エコドライブ、環境意識)

用語集

問合せ先

-1-

【解説 (explanation)】

- これは目次である
- はじめにでは、デンソーの環境に対する思いを述べ、次に、デンソーの環境活動の源となるデンソーエコビジョン2025を説明した上で、本ガイドラインの位置付けを説明している
- そして、サプライヤの皆さんへの具体的なお願い事項を説明している
- 最後に、ガイドラインで使用している用語の説明をしている

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

はじめに

日頃より、生産・調達活動に多大なご支援とご協力を賜りまして、心から御礼申し上げます。
これまで、仕入先様との強固なパートナーシップを礎にしながら、デンソーグループは現在の事業基盤を築き上げてきました。

お陰様で、クルマも交通社会も目覚ましい進歩を遂げ、今では保有台数は11億台を突破。新興国の発展とともに2025年には世界人口が90億人、自動車は15億台に達すると予想されています。
その結果、クルマの利便性や自由に移動する喜びを享受する人々が増える一方で、温室効果ガスの排出量は増加し、環境負荷物質による人々の健康や自然環境への影響も懸念されております。
デンソーグループは、クルマがいつまでも人々に愛され続けるために、これらの課題と真正面から向き合い、クルマの価値を最大化しつつ負の影響を最小化する解決策を提示する企業集団であり続けたいと考えています。

その指針として、「デンソーグループ2030年長期方針」を公表し、地球にやさしく、すべての人が安心と幸せを感じられるモビリティ社会の実現に向け、新たな価値を創造し続ける企業を目指すことを宣言しました。
そして、「地球に、社会に、すべての人に、笑顔広がる未来を届けたい。」というスローガンに、常に人や社会を思いやる企業でありたいと願うデンソーグループ社員の総意を込めました。
その実現のため、さらに、企業に求められる領域や役割の拡大にも対応し、ライフサイクル視点を強化し、バリューチェーン全体で環境価値を創造する経営を推進するため、新たな環境長期方針「デンソーエコビジョン2025」を掲げ取り組んでいきます。

私たちの製品は、仕入先様から納入いただく部品・材料をはじめ、設備・施設・副資材・事務用品など、直接・間接を問わず全ての調達品やサービスから生み出されています。
「デンソーエコビジョン2025」を実現するためには、私たちと仕入先様の総智・総力を挙げた取り組みが重要であると考えており、今後とも仕入先様との一層の相互信頼に基づく相互発展を柱に据えて、事業活動に努めていく所存です。

以上の様なことから、この度、デンソーエコビジョン2025の発行にあわせて「デンソーグループグリーン調達ガイドライン」を策定いたしましたので、趣旨・内容をご理解の上、新ガイドラインに基づく取り組みを私たちと力を合わせて実践していただきますようお願い申し上げます。

安全・品質・環境本部 本部長 執行幹部 竹村秀司

グローバル生調センター センター長 経営役員 飯田康博

-2-

【解説 (explanation)】

- これははじめにである
- ここでは、環境活動に対するデンソーの思い、その思いをかなえるためにはサプライヤの皆さんの協力が必須であることを述べている
- サプライヤの皆さんには、このデンソーの思いをご理解頂き、是非ともデンソーの環境に関する諸活動にご協力をお願いします

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

【解説 (explanation)】

- これはデンソーエコビジョン2025である
- ここでは、デンソーの環境に対するビジョンを述べている
- デンソーは、2050年を見据えたコミットメントをしている
- そして、デンソーは、環境方針としてコミットメントのマイルストーンを2025年に置き、2025年に達成すべき3つのターゲットである「エネルギー1/2」、「クリーン2倍」、「グリーン2倍」を掲げ、「エネルギー」、「クリーン」、「グリーン」の3つの軸で10のアクションを定め、「製品」、「工場」、「社員」、「経営」の視点から全ての事業領域で取り組むこととした

デンソーエコビジョン2025

私たちは、「地球と生命を守り、次世代に明るい未来を届けたい。」というスローガンに、常に人や社会を思いやる企業でありたいと願うデンソーグループ社員の総意を込めました。その実現のため、また、企業に求められる価値や役割の拡大にも対応し、ライフサイクル視点を強化し、バリューチェーン全体で環境価値を創造する経営を推進するため、下記に示す新たな環境長期方針「デンソーエコビジョン2025」を掲げ取り組んでいきます。

I コミットメント（～2050年）

デンソーグループは、全ての企業行動を通じて、環境・エネルギー問題の解決と自然との共生を図り、2050年の持続可能な地球・社会に向けた、新たな環境価値を創造し、地球を守り、次世代に明るい未来を届けます。

II 環境方針（～2025年）

コミットメントのマイルストーンとして、2025年に達成すべき「ターゲット3」を定め、具体的な10分野の取り組みである「アクション10」を推進します。

【ターゲット3】

エネルギー1/2	地球温暖化でエネルギー資源問題を解決する技術で、地球環境の持続的な維持に貢献します。
クリーン×2	全てのステークホルダーの皆様安心して頂けるよう、清浄はもとより、継続的改善を進め社会と共に成長する企業であり続けます。
グリーン×2	豊かな自然を次世代に引き継ぐため、自然との共生を目指した企業活動を通して、自然の恵み・恩恵を分かち合う社会を実現します。

【アクション10】

「エネルギー」「クリーン」「グリーン」の3軸で10のアクションを定め、製品・工場・社員・経営の視点から全ての事業領域で取り組みます。

	エネルギー1/2	クリーン×2	グリーン×2
製品 エコ プロダクト	01 究極の燃費性能	04 エコマテリアル & ローエミッション	07 新グリーンテクノロジー
工場 エコ ファクトリー	02 ミニマムCO ₂ モノづくり	05 ミニマム環境負荷生産	08 緑・自然豊かな職場
社員 エコ フレンドリー	03 低炭素な暮らし・移動	06 環境意識・知識・スキル	09 環境社会貢献アクション
経営 エコ マネジメント	10 環境価値創造のマネジメント		

-3-

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

本ガイドラインの位置付け

■グリーン調達とは

①環境法規則・規範を遵守し、②環境負荷低減※に取り組み、③環境マネジメントシステムが構築されている仕入先様から、指定する禁止物質を使用せず、環境負荷低減に配慮した部品・材料・サービスを優先的に調達すること

※環境負荷低減とは、GHG(温室効果ガス)の低減、環境負荷物質の削減など地球環境に与える負の影響を低減すること

■グリーン調達ガイドラインの位置付け

本グリーン調達ガイドラインは、One DENSOとしてグローバルで共通して仕入先様へお願いする内容をまとめたものです。

本ガイドラインの内容をご理解いただき、弊社のグリーン調達の活動にご協力頂きますようお願いいたします。

【解説 (explanation)】

- これは本ガイドラインの位置付けである
- まず、グリーン調達とは、環境法規制・規範を遵守し、環境負荷低減に取り組み、環境マネジメントシステムが構築されているサプライヤから、指定する禁止物質を使用せず、環境負荷低減に配慮した部品・材料・サービスを優先的に調達することである
- そして、本グリーン調達ガイドラインは、One DENSOとしてグローバルで共通してサプライヤへお願いする内容をまとめたものである

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

仕入先様へのお願い事項

デンソーエコビジョン 2025 を実現するためには、仕入先様のご協力が不可欠です。
 そこで、本グリーン調達ガイドラインに、皆様方へのお願い事項をまとめました。
 下図にエコビジョンと仕入先様へのお願い事項をまとめました。
 また、次ページに、そのお願い事項の詳細を一覧表としてまとめました。
 なお、附表3に拡大した一覧表を示しました。
 仕入先様におかれましては、弊社のグリーン調達への取組みに対し、深いご理解とご協力をお願い申し上げます。
 なお、各国、各地域における法令遵守は前提としてお願いします。

エコビジョンと仕入先様へのお願い事項

【赤】赤字：数値の要請と報告 | 青字：取組みを要請 | 【記号】◇：要請/報告、○：お願い/強化、+：従来とあり

	エネルギー1/2	クリーン ×2	グリーン ×2
エコ プロダクト	① 究極の燃費性能 ◇ 弊社の1154F+消費-CO2 排出量削減に貢献する 製品開発への支援	④ エコマテリアル&RO-エミッション + 環境負荷物質に関する設計基準遵守 + 材料、製造員用物資供給の提供 + 環境負荷物質非含有データの提供 + 環境負荷物質非含有管理体制構築	⑦ 新クリーンテクノロジー ◇ 弊社が「CO2削減推進事業」 製品開発への支援
エコ ファクトリー	② ミニマムCO2モノづくり + 弊社の生産/CO2削減 + 弊社の物流/CO2削減 ○ 最終物流の燃費報告	⑤ ミニマム環境負荷生産 + 有害排出物削減、廃棄物削減 + 有害化学物質の削減 + 有害環境負荷物質のリスク削減 + 材料・副産物中の有害物質含有禁止 ○ 材料・副産物の含有成分の報告、 SDSの提供 ○ 有害化学物質の含有化学物質 の報告（※社外委託時）	⑧ 緑・自然豊かな職場 ◇ 貴社工場、職場の緑化 の推進
エコ フレンドリー	③ 低炭素な暮らし・移動 ◇ 貴社従業員のエコドライブの 推進	⑥ 環境意識・知識・スキル ◇ 貴社従業員への環境意識の浸透	⑨ 環境社会貢献アクション ◇ 貴社の生物多様性保全 活動の推進
エコ マネジメント	⑩ 環境価値創造のマネジメント ○ 貴社の環境マネジメント体制の構築(貴社のTier1, Tier2様への依頼・普及 土壌汚染対策(弊社委託時) + 弊社納入品のライフサイクル全体を考慮した環境マネジメントの推進と納入品に関するサプライチェーン 管理データの提供(弊社委託時)		

-5-

【解説 (explanation)】

- ここからは、サプライヤへのお願い事項である
- まず、サプライヤへのお願い事項とデンソーエコビジョン2025の10のアクションとの関係を整理した表を示した
- この表の赤字はサプライヤへの取り組みを要請するとともにデンソーへの報告を要請する項目です
- また、青字はサプライヤへの取り組みを要請するものでデンソーへの報告は不要な項目です

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

各業種の調達には様々な業種があり、以下は代表例です。

業種	項目	各業種の調達には様々な業種があり、以下は代表例です。									
		環境	労働	人権	腐敗	情報セキュリティ	サイバーセキュリティ	その他	その他	その他	その他
自動車部品 製造業	環境	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	労働	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	人権	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腐敗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
半導体 製造業	環境	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	労働	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	人権	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腐敗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
電子部品 製造業	環境	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	労働	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	人権	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	腐敗	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【解説 (explanation)】

- この表は、サプライヤへのお願い事項をサプライヤの業種ごとに整理したものです。
- この表の◎は、サプライヤへの取り組みを要請するとともにデンソーへの報告をお願いする項目です
- また、○はサプライヤへの取り組みを要請するものでデンソーへの報告は不要な項目です
- この表は字が小さく見難いため、附表3として拡大したものを作りました

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

1. 環境マネジメントシステムの構築

1-1.環境マネジメント体制の構築

環境負荷の低減は、企業活動すべてにおいて関わることであり、全ての仕入先様には ISO14001 または同等の第三者認証取得を基本とした「環境マネジメントシステム」の構築をお願いいたします。
すでに構築済みの仕入先様におかれましては、運用の維持・レベルアップ、更新をお願いいたします。
なお、未だ第三者認証を取得されていない仕入先様は、まず下記を満足する仕組みを構築していただき、引き続き第三者認証取得に向けた努力をお願いします。

- 記 -

弊社が定める「グローバルデンソー環境マネジメント要求(附表1)」の必要事項を記入願います。
附表1のⅠ 認証取得でB、C、Dの仕入先様は、Ⅱ 環境マネジメントシステムに関する自己診断の各質問への回答が全て「yes」となる仕組みを構築していただきたい。
なお、このⅡ 環境マネジメントシステムに関する自己診断への各質問への回答の際には、附表2の環境マネジメントシステムに関する自己診断のガイドラインを参照願います。

また、サプライチェーン全体の環境マネジメントを実現するために、皆様の仕入先様への環境マネジメントシステムの確認、助言・指導と、その先の仕入先様への必要に応じた展開、啓発をお願いします。
なお、各仕入先様の環境マネジメントシステムの構築状況につきましては、別途確認させていただきます。

-7-

【解説 (explanation)】

- ここからは、サプライヤへのお願い事項を詳しく説明している
- これは、環境マネジメント体制の構築のお願いである
- さまざまな環境活動を推進するためにはそのマネジメント体制が構築されている必要がある
- そのため、サプライヤにはISO14001または同等の第三者認証の取得をお願いしている
- サプライヤには、附表1の「グローバルデンソー環境マネジメント要求」に必要事項を記入して提出して頂きたい

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

1-2. ライフサイクル全体での環境マネジメントの推進

弊社は、トータルな視点で製品の環境性を評価しながら企業活動全般における環境影響の低減に努めています。この活動では弊社が及ぼす環境影響の把握のみではなく、サプライチェーンにおける環境影響の把握も必要ですので、対象原材料、部品を納入される仕入先様には、対象品に関する環境データの提供をお願いする場合があります。

その際、「サプライチェーン環境データ調査ガイドライン」をお送りしますので、データ調査はこのガイドラインに従い、下記表のデータ提出をお願いします。

特に新規採用材料/部品および設計変更材料/部品について、従来材料/部品に対する環境負荷の変化を確認させて頂く場合があります。

調査対象	主な調査内容
弊社選定材料/選定部品 (推測される環境への影響度合いなどを勘案して都度選定します)	材料/部品製造環境データ ・エネルギー使用量 ・CO ₂ 、NO _x などの大気への排出量 ・廃棄物量 ・水使用量 など

<弊社への提出書類および提出時期>

提出書類	提出時期
サプライチェーン環境データ調査票	新製品開発時、設計変更時など随時(提出期日の2ヶ月程度前に依頼いたします)

-8-

【解説 (explanation)】

- これは、ライフサイクル全体での環境マネジメントの推進のお願いである
- デンソーは、サプライヤのエネルギー使用量、水使用量などの環境データの提供を要請する場合があります
- もし、要請された場合は、環境データの提供をお願いします

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

2. 環境負荷物質の管理と削減

2-1. 弊社に納入される製品、部品、材料、副資材(最終的に製品を構成するもの)

環境負荷物質の使用に関しては、欧州をはじめとして各国で法制化が進んでおり、その影響はますます大きくなるばかりです。特に自動車に関しては欧州では、廃棄時の環境負荷物質に関する法規が発効されています。これにより、法規遵守という観点から環境負荷物質の非含有保証に厳密さが要求されてきています。

弊社では、このような動きの中、環境負荷物質の使用禁止、削減を進めております。

この場では、弊社に納入いただく製品、部品、材料、副資材[以下、製品等という]に対する環境負荷物質についての対応を規定しておりますので、以下の項目へのご協力をお願いいたします。

(a) 環境負荷物質に関する設計基準※の遵守

仕入先様各社におかれましては、環境負荷物質に関する設計基準に従った製品等の納入をしていただけますようお願いいたします。

なお、当該設計基準の「申告物質」の中には、現在法規制化が検討されている、或いは、今後法規制化が予想される物質を含んでおります。このような物質については、具体的に代替技術開発および削減活動をお願いする場合があります。その場合は別途詳細を連絡させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

※デンソーの場合は、DDS2004「環境負荷物質の材料及び製部品への使用制限」

(b) 材料及び環境負荷物質情報の提供

仕入先様各社におかれましては、弊社の要求(仕入先における品質保証マニュアルなど)に従い、材料及び環境負荷物質の情報の提供をお願いいたします。

(c) 環境負荷物質に関する初品検査結果の報告

担当受入部署からの指示に従い、初品検査結果をご報告いただくようお願いいたします。

【解説 (explanation)】

- ここからは、環境負荷物質の管理と削減のお願いである
- はじめに、デンソーに納入する製品、部品、材料、ならびに最終的にデンソーの製品に残存する副資材についてのお願いである
- 一つ目は、環境負荷物質設計基準遵守のお願い
- 二つ目は、材料及び環境負荷物質情報の提供のお願い
- 三つ目は、環境負荷物質に関する初品検査結果の報告のお願いである

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

(d)環境負荷物質非含有管理体制の構築
仕入先様におかれましては、自社の製品等の中に環境負荷物質が含有しない管理体制を構築いただきますようお願いいたします。
なお、仕入先様の「環境負荷物質非含有管理体制」の実態を確認する目的で、弊社による監査を適宜実施させていただきます。

2-2.弊社内にて使用する材料、副資材[※]等
弊社内の事業場で使用する材料・副資材・薬剤等の環境負荷物質について、以下の項目への対応をお願いいたします。
(a)禁止物質の含有禁止
材料、副資材、設備を納入する仕入先様および工事、清掃、遠隔を請負う仕入先様は、納入材料・持込み材料(設備に付帯する油剤、農薬などの化学品を含む)に、下記の「禁止物質」を含有されないようお願いいたします。
1)各国・地域で生産・使用を禁止する物質
2)弊社禁止物質
弊社が禁止物質を指定する場合があります。その場合は、詳細を弊社ホームページに記載します。

(b)材料及び環境負荷物質情報等の提供
弊社内にて使用する材料、副資材を納入される仕入先様には、納入材料、副資材のSDSの提供をお願いいたします。

2-3.弊社に納入される梱包包装材
弊社に梱包包装材を納入される仕入先様には、弊社の要求がある場合は、その要求にしたがい納入梱包包装材に含有される化学物質を調査し、その結果を報告して頂きますようお願いいたします。

-10-

【解説 (explanation)】

- ・四つ目は、環境負荷物質非含有管理体制の構築のお願いである
- ・つづいて、デンソー社内で使用する材料、副資材等についてのお願いである
- ・一つ目は、禁止物質の含有禁止のお願い
- ・二つ目は、材料及び環境負荷物質情報の提供のお願い
- ・最後に、デンソーに納入される梱包包装材についてのお願いである
- ・デンソーは、梱包包装材のサプライヤに梱包包装材に含有する化学物質の調査を要請する場合がある
- ・もし、要請された場合は、化学物質の調査を実施し、その結果を報告願います

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

3. 物流に関わるCO₂排出量、梱包包装材の削減

弊社は物流におけるCO₂排出量(エネルギー消費量)の削減に積極的に取り組んでいます。併せて、梱包包装材の削減も推進しています。対象の仕入先様におかれましても、物流における環境取り組みをお願いいたします。

3-1.弊社からの委託物流における削減

製品及び部品の物流をお願いしている仕入先様は、CO₂排出量の削減における弊社の改善取り組み内容をご理解いただき、物流パートナーとして弊社と一体となった改善推進についてご協力をお願いいたします。

また、必要な場合は、弊社からの要求に従い、CO₂排出量に関する情報の提供をお願いします。

3-2.弊社への納入物流における削減

部品、材料、副資材等を納入していただいている仕入先様は、弊社への納入物流におけるCO₂排出量の削減への取り組みをお願いいたします。更に梱包包装材におきましても、弊社の削減活動にご協力をお願いいたします。

<弊社への提出書類および提出時期>

弊社への資料提出は不要です。

-11-

【解説 (explanation)】

- ここからは、物流に関わるCO₂排出量、梱包包装材の削減についてのお願いである
- 一つ目は、デンソーからの委託物流におけるCO₂排出量の削減のお願いである
デンソーは、製品・部品の物流を委託しているサプライヤにCO₂排出量に関する情報の提供を要請する場合がある
もし、要請された場合は、CO₂排出量に関する情報の提供をお願いします
- 二つ目は、委託物流におけるCO₂排出量、梱包包装材の削減のお願いである
デンソーへ部品・材料・副資材等を納入頂いているサプライヤへのお願いであり、デンソーへの情報提供は要請しません

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

4. 仕入先様における各種環境への取り組み

4-1. 法規遵守

弊社は法規遵守を環境活動の最重要項目と考えております。
仕入先様におかれましても、環境関連法規の遵守をお願いします。

4-2. 弊社製品開発への支援

弊社は、エネルギー消費・CO₂ 排出量削減に貢献する製品を世に送り出し、くま社会の環境負荷低減を牽引したいと考えております。
また、地球環境を維持し、持続可能な未来を技術で支え、新規事業化を通して社会に貢献したいと考えており、グリーン環境関連事業の製品開発を進めます。
仕入先様におかれましても、これまでも弊社当該部署よりご支援をお願いして来ておりますが、今後もこれまでに以上にこれら弊社の製品開発へのご支援をお願いいたします。

4-3. 環境パフォーマンスの向上

仕入先様の事業活動におかれましても、以下の環境パフォーマンスの向上に努めていただきますようお願いいたします。

- ◇CO₂ 排出量の削減
- ◇排出物[※]、廃棄物[※]の削減
- ◇水使用量の削減
- ◇環境負荷物質のリスク削減
 - ・生産時使用の副資材中の禁止物質(弊社指定の禁止物質)の管理・削減
 - ・PRTR[※]対象物質排出量の削減
 - ・VOC[※]排出量の削減
- ◇工場・職場の緑化推進
- ◇生物多様性保全活動の推進

生物多様性に配慮した事業活動により、生物多様性に及ぼす影響の低減及び持続可能な利用に取り進んでいる。

4-4. 従業員への取り組み

弊社は、低炭素な暮らし・移動を目指すべく、くらし・移動における化石エネルギー使用の低減に取り組めます。
仕入先様におかれましても、従業員の皆様のエコドライブの推進等に積極的に努めていただきますようお願いいたします。
また、弊社はさまざまな環境活動を推進するためには、社員一人ひとりが「地球環境の維持」にこだわり、自分たちの使命として、それぞれの持ち場・立場で、持続可能な社会を目指した行動を自ら実践しようとする意識が重要と考えております。
仕入先様におかれましても、従業員の皆様の環境意識の浸透に努めていただきますようお願いいたします。

-12-

【解説 (explanation)】

- ・ここからは、サプライヤ自身の各種環境への取り組みについてのお話である
- ・一つ目は、法規遵守のお願い
デンソーは法規遵守を環境活動の最重要項目と考えております
- ・二つ目は、デンソーの製品開発への支援のお願い
- ・三つ目は、サプライヤ自身の環境パフォーマンスの向上のお願い
サプライヤ自身のCO₂排出量の削減、水使用量の削減、環境負荷物質のリスク削減等に取り組んで頂きたい
- ・四つ目は、サプライヤの従業員への取り組みのお願い

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

用語集

- ◆GHG
Green House Gas の略
- ◆SDS
Safety Data Sheet の略
- ◆廃棄物
排出物の内、業者に費用を支払って捨てるもの。
逆有償リサイクル+埋立廃棄物。
- ◆排出物
自社から不用品として捨てられるすべてのもの。
有償リサイクル(有償物)+廃棄物(逆有償リサイクル+埋立廃棄物)。
- ◆PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)
対象となる化学物質を製造・使用・排出している事業者が、排出量及び廃棄物処理のために事業所の外へ移動させた量を把握・集計・公表する仕組み。
- ◆VOC(Volatile Organic Compounds)
揮発性有機化合物
- ◆副資材
洗浄用溶剤・切削油など、製品にはならないが、生産工程で使用されるもの。なお、仕入先様の生産段階における副資材につきましては、弊社向け製品で使用するものをいう。

問合せ先

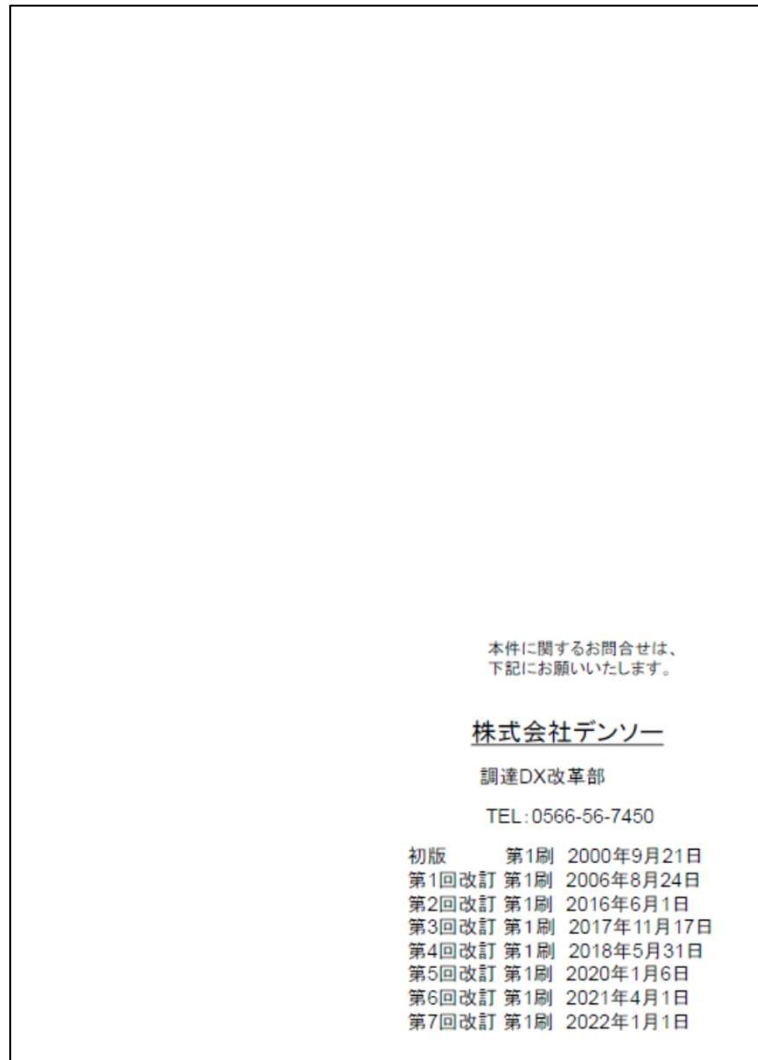
(株)デンソー 調達 DX 改革部 TEL 0566-56-7450

-13-

【解説 (explanation)】

- これは、用語集です
本ガイドラインで使用している用語を説明しています

3.グリーン調達ガイドラインの詳細



【解説 (explanation)】

- このページは、問合せ先と改訂履歴を示している

本件に関するお問合せは、
下記をお願いいたします。

株式会社デンソー

調達DX改革部

TEL:0566-56-7450

初版 第1刷 2000年9月21日
第1回改訂 第1刷 2006年8月24日
第2回改訂 第1刷 2016年6月1日
第3回改訂 第1刷 2017年11月17日
第4回改訂 第1刷 2018年5月31日
第5回改訂 第1刷 2020年1月6日
第6回改訂 第1刷 2021年4月1日
第7回改訂 第1刷 2022年1月1日

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

【附表1】
グローバルデンソー環境マネジメント要求

下記に必要な事項を記入し、弊社担当購買部署に報告願います。

仕入先コード	
会社名	
報告者氏名	
報告者所属・役職	
報告年月日	

I. 認証取得について
ISO14001またはEMAS、その他の第三者機関の認証を取得していますか。
下記のA~Dの該当する回答の記号に○を付けて下さい。
また、Aを選択した場合は、認証名、認証機関名、認証番号をカッコ内に記入ください。
Bを選択した場合は、認証取得予定時期をカッコ内に記入ください。

A	認証取得済み 認証名： [] 認証機関名： [] 認証番号： []
B	認証取得計画がある 認証取得予定時期： []
C	今後、取得を計画する
D	取得予定なし

【解説（explanation）】

- ここからは、附表1である
- グローバルデンソーの環境マネジメントの要求
- このページは、まず、サプライヤのコード、会社名、報告者名等を記入
- また、I項は、第三者認証の取得に関する質問であり、該当するところに必要事項を記入して頂くものである

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

II. 環境マネジメントシステムに関する自己診断

上記 I で回答が B、C、D の場合は、下記の質問にお答え下さい。

No.	項目	質問文	回答 (yes, no)
1	環境方針	環境保全に関する会社方針を定め、貴社の従業員、ならびに仕入先に展開している	
2	体制	環境保全活動を推進するための「組織」、 「環境責任者」が明確である	
3	計画	環境保全に対する取組み項目を明確にして、 その取組み目標を定め、目標を達成するための 日程計画を策定している	
4	運用管理	策定した環境保全に対する取組み計画に 基づき、活動を推進し、その進捗管理を 実施している	
5	教育	環境保全に関して、従業員に必要な情報を 展開し、教育を実施している	
6	緊急事態への準備、 対応	環境事故などの緊急事態に関する対応手順を 定めている	
7	経営層による見直し	環境保全に対する取組み結果を会社のトップに 報告し、会社トップから改善指示を受けている	

※環境保全とは、環境破壊を防止し、自然保護を図ることであり、具体的には下記のようなことを指す。
下記の環境保全の取り組みを参考にして、下記の①～⑭の1つ以上の項目に取り組むことを
環境方針で謳っていること。

- 1) 公害問題の防止
 - ①大気汚染の防止 (工場のばい煙の規制値遵守)、②水質汚濁の防止 (工場の排水の規制値遵守)、
 - ③廃棄する製品などの廃棄物中の環境負荷物質の削減、④騒音の防止 (工場の騒音の抑制) など
- 2) ごみ問題の防止
 - ⑤ごみの分別 (紙ごみと金属、プラスチックごみの分別)、⑥廃棄物の削減 (再生して使用、再利用)、
 - ⑦不法投棄の防止 など
- 3) 地球温暖化の防止
 - ⑧省エネルギー (電気・水使用量の削減)、⑨温室効果ガスの削減、
 - ⑩省燃費 (製品の小型・軽量化、ハイブリッド車・EV 車などの製品の開発) など
- 4) 砂漠化・砂漠化の防止
 - ⑪工場、オフィスでの水使用量の削減、⑫植林 (工場周辺に花木を植える) など
- 5) 希少種の絶滅の防止
 - ⑬ビオトープの設置、⑭工場の建設時に周辺の希少生物の保護を考慮して建設する など

以上

【解説 (explanation)】

- このページは、前ページの I、認証取得
についてで、回答を B、C、D とした
サプライヤに回答頂く質問である。
- 次ページの附表2環境マネジメントシス
テムに関する自己診断のガイドラインを
参照してお答え頂くものである
- なお、回答後はデンソーの担当購買部署
報告頂くものである

3.グリーン調達ガイドラインの詳細

【附表2】

環境マネジメントシステムに関する自己診断のガイドライン

No.	項目	自己診断のガイドライン (回答に yes を記入できるレベル)
1	環境方針	会社のトップの環境保全に関する思いを記した文書があり、それが従業員に伝えられていること。 朝礼などで従業員に話していることでも良いが、その内容を文書に記して、職場に掲示している、あるいは社内イントラネットを通じて従業員が見れるようになっていること。 さらに、会社のホームページに掲載している場合も良い。 また、仕入先との打合せ時に環境方針を伝えたり、ホームページなどで仕入先にも展開していること。
2	体制	環境保全活動を推進するために、だれが、何を実施するか、その推進責任者が誰かが決められており、その内容が組織表等で文書になっていること。 なお、ひとりで複数の取組みを実施する場合も良い。 また、ひとりで複数の推進責任者を受け持っても良い。
3	計画	環境保全の何に取り組むかが決められており、その目標を設定し、目標を達成するための日程計画を策定していること。
4	運用管理	策定した計画に基づき活動を推進し、進捗の確認を実施していること。 また、計画に対して進捗が遅れている場合は、遅れの原因を分析して、遅れを挽回するための施策を講じたり、必要な場合は計画の見直しを行っていること。
5	教育	環境保全活動を推進するために必要な情報を従業員に展開していること。 また、新入社員への研修、昇格者への研修、さらに朝礼等の場を利用して、必要な知識などを教育していること。
6	緊急事態への準備、対応	火災や地震等での設備破損による油漏れ・水漏れ、その他の環境事故を想定し、それが起こった場合の対応手順を定めていること。 なお、その手順に従い訓練を実施していることが望ましい。
7	経営層による見直し	環境保全活動に関する計画の進捗状況の報告やその成果について経営層に報告し、経営層から改善指示を受け、その結果を今後の計画に反映していること。

【解説 (explanation)】

- この附表2は、サプライヤが、前ページのⅡ.環境マネジメントシステムに関する自己診断を記入する際のガイドラインである
- 前ページの自己診断でyesと回答できるためのレベルを示している

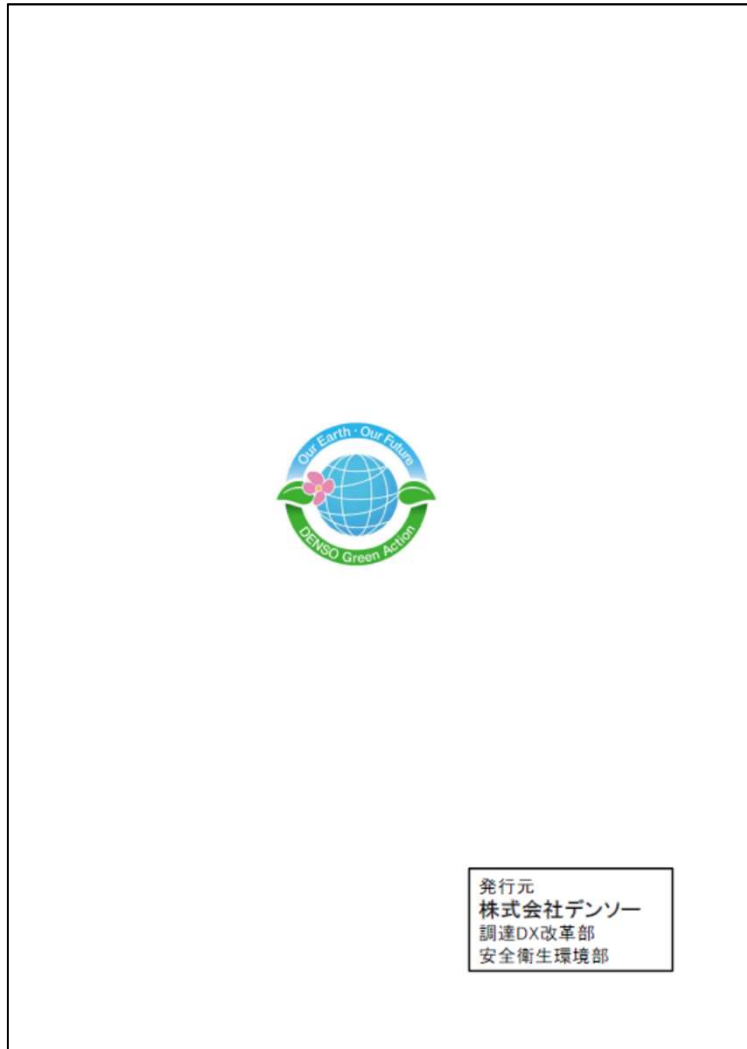
3.グリーン調達ガイドラインの詳細

仕入先種へのお願い事項一覧		◎: 取組みと報告を要しない、○: 取組みを要しない										
新仕入先種へのお願い事項		該当する条	仕入先種別									
			原材料	製・部品	副資材	消耗品等	包装材	設備・装置	施設・工事	物流	その他 (廃棄・清掃等)	
マネジメント (経営)	貴社の環境マネジメント体制の構築(貴社の仕入先種への展開・普及)と構築状況の報告	1条	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	弊社納入品のライフサイクル全体を考慮した環境マネジメントの推進と納入品に関するサブライフェーン環境データの提供	1条	◎	◎	◎							
エネルギー (Energy) 1/2	プロダクト (製品)	弊社のエネルギー消費・CO2排出量削減に貢献する製品開発への支援	4条	○	○	○	○		○			
	ファクトリー (工場)	貴社生産のCO2削減	4条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		弊社への納入物流のCO2排出量、報告・包装資材の削減	3条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		弊社からの委託物流のCO2排出量削減への協力と燃費報告	3条								◎	
フレンドリー (社員)	貴社従業員のエコライフ推進	4条	○	○	○	○	○	○	○	○		
グリーン (Green) *2	プロダクト (製品)	環境負荷物質に関する設計基準の遵守	2条	◎	◎	◎						
		弊社納入品の材料及び環境負荷物質情報の提供	2条	◎	◎	◎						
		環境負荷物質非含有データの提供と非含有エビデンスの保管	2条	◎	◎	◎						
		環境負荷物質非含有管理体制の構築	2条	◎	◎	◎						
	ファクトリー (工場)	貴社排出物の削減	4条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		貴社廃棄物の削減	4条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		貴社水使用量の削減	4条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		貴社環境負荷物質のリスク削減	4条	○	○	○	○	○	○	○	○	
		弊社納入材料/副資材中への指定物質の含有禁止	2条	○	○	○	◎		○	○	○	
		弊社納入材料/副資材の含有成分報告とSDSの提供	2条	◎		◎	◎					
		弊社納入包装材の含有化学物質の報告	2条	◎				◎				
		フレンドリー (社員)	貴社従業員への環境意識の浸透	4条	○	○	○	○	○	○	○	○
グリーン (Green) *2	プロダクト (製品)	弊社グリーン環境調達事業製品開発への支援	4条	○	○	○	○		○			
	ファクトリー (工場)	貴社の工場・職場の緑化推進	4条	○	○	○	○	○	○	○		
	フレンドリー (社員)	貴社の生物多様性保全活動の推進	4条	○	○	○	○	○	○	○		

【解説 (explanation)】

- これは、附表3である
- この表は、サプライヤへのお願い事項をサプライヤの業種ごとに整理したものです。
- この表の◎は、サプライヤへの取り組みを要請するとともにデンソーへの報告をお願いする項目です
- また、○はサプライヤへの取り組みを要請するものでデンソーへの報告は不要な項目です

3.グリーン調達ガイドラインの詳細



【解説 (explanation)】

・このページは、裏表紙である

DENSO

Crafting the Core